

中学校3年生生徒の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 山岸 弘昇

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

仲秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月18日（火）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち生徒が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から生徒への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 調査対象

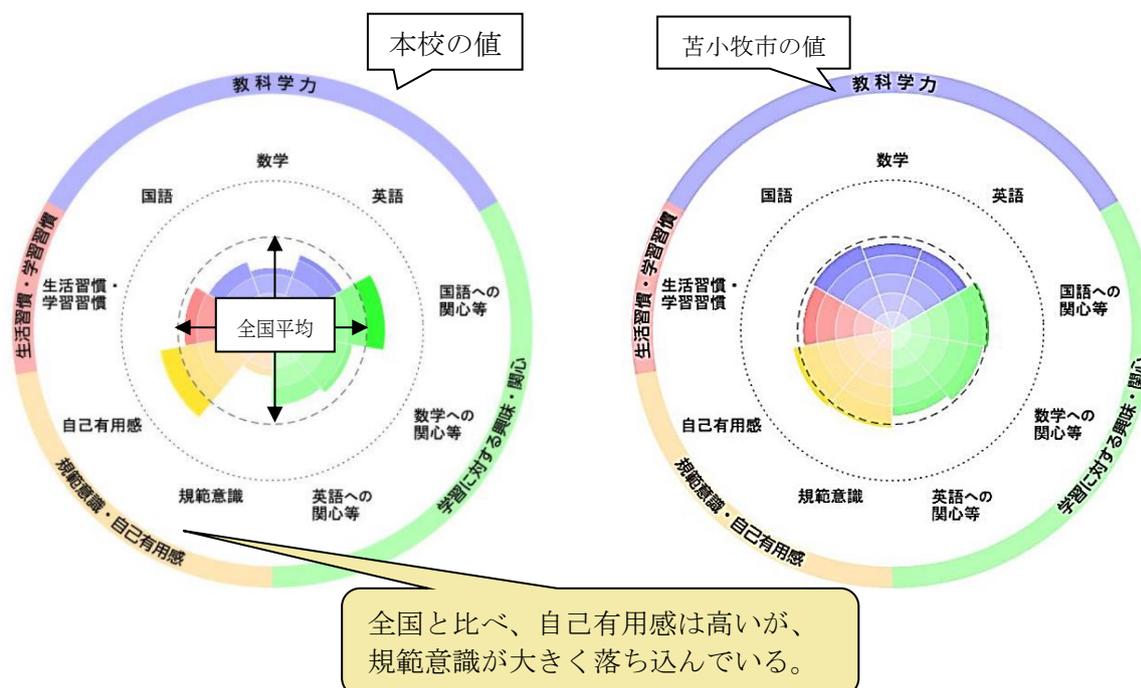
中学校第3学年

(3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、数学、英語の3教科が出題されました。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の他に「話すこと」に関する問題が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する生徒質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

- ・国語においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「情報の扱い方に関する事項」の設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っている。
- ・「聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」設問において、無回答率が低く、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「書くこと」の領域では、記述式問題の平均正答率が全国平均を大きく下回っているが、無回答率は低い。

(3) 数学科

- ・数学においては、平均正答率が全国平均を下回っている。特に、「関数」の領域で、全国との差が大きくなっている。
- ・「自然数の意味を理解しているかをみる」設問と、「数と数式の乗法の計算ができるかどうかをみる」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・問題形式で見ると、記述式問題の無回答率が高くなっている。

(4) 英語

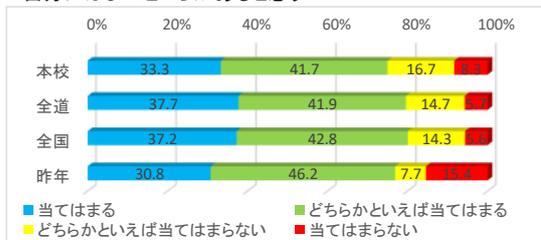
- ・英語においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・「読むこと」の領域では、平均正答率がほぼ全国平均と同じである。
- ・「書くこと」「話すこと」の領域では、平均正答率が全国平均を大きく下回っている。
- ・「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。

(5) 生徒質問紙

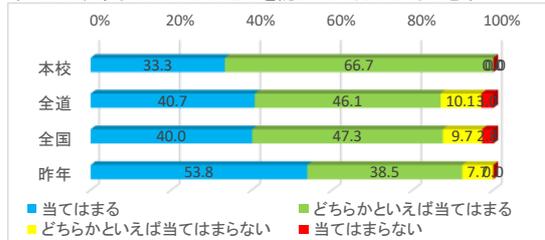
学校生活

- ・100%の生徒が、先生によいところを認められていると答えている。自己肯定感も昨年度に比べると「自分に良いところがない」と考えている生徒の割合が減っている。

自分にはよいところがあると思う

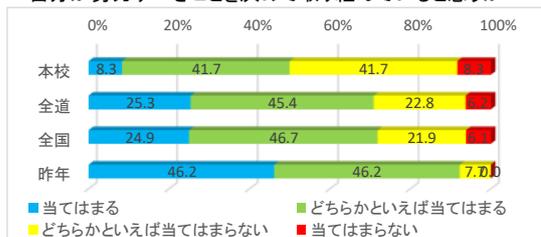


先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う

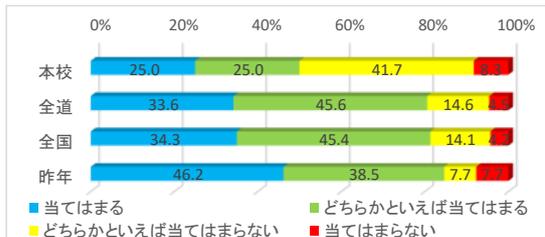


- ・学級活動等での話し合い活動が、学級での活動や自己の成長に活かされていると考えている生徒の割合が、全国に比べると低くなっている。昨年度と比べても大きく割合が減少している。

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思うか

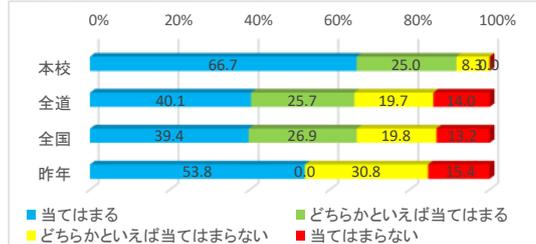


話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



- ・将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全道・全国と比べて多く、昨年度と比べても大きく改善している。

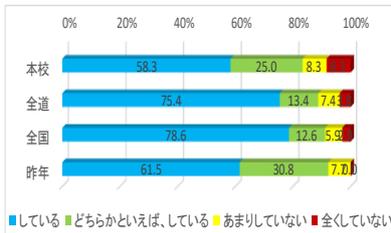
将来の夢や目標を持っている



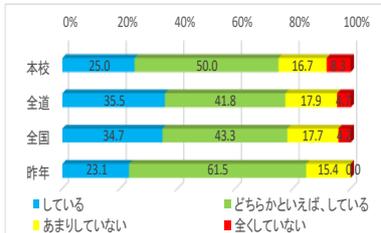
家庭生活

- ・基本的な生活習慣は、ある程度身につけているが、全国・昨年度に比べ、できていない生徒の割合が多い。朝食を全く食べていない生徒が1割弱、寝る時間が決まっていない生徒も2割以上いる。

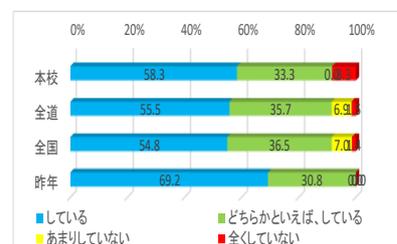
朝食を毎日食べている。



毎日、同じくらいの時間に寝ている。

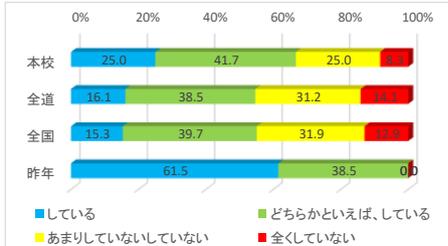


毎日、同じくらいの時間に起きている。

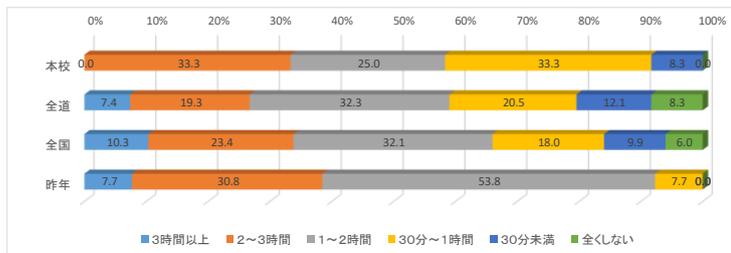


- ・自分で計画を立てて学習に取り組んでいる生徒の割合が、全国に比べると多いが、昨年度に比べると大きく減少している。
- ・家で学習については、長時間取り組んでいる生徒はいないが、全員が少しは学習に取り組んでいるという結果になっている。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

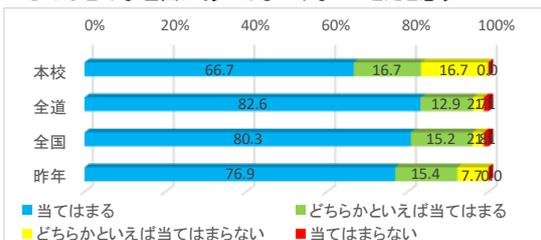


普段、一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか

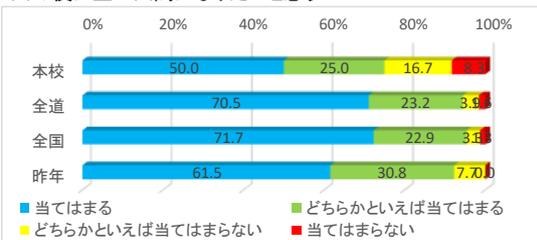


- ・1面の全国平均との比較チャートでも、規範意識が落ち込んでいることから読み取れるように、いじめはいけないことだという意識をもって生活している生徒、人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合が、全国平均よりも少ない。昨年度と比べても減少している。

いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



人の役に立つ人間になりたいと思う



3 学校の今後の取組について

(1) 授業改善に向けて

生徒一人一人の習熟に応じた指導の充実に加え、

① 国語

【学校では】・全国平均を大きく下回った「情報の扱い方に関する事項」や「書くこと」の領域の問題に対応するため、「意見と根拠の関連」や「具体と抽象の関連」、「情報同士の関連」などを複合的に読み解き、要旨や要約文にまとめる学習を授業の中に意識的に設定します。

・副教材として購入しているワークを活用し、言葉の意味や用例を授業内で指導することにより、語彙を増やし、文章作成時に使っていけるよう指導します。

【家庭では】・ぜひ、漢字検定を積極的に受検してください。高校入試の2割程度の問題が漢字や語句に関する問題です。3級以上であれば、高校に送付する調査書にも記入することができ、アピールになります。

・スマホに触れる時間を、少しでも本に触れる時間にしましょう。

② 数学

【学校では】・基礎基本の定着を図るため、授業の中での振り返りの時間を確保するとともに、チーム・ティーチングを継続・活用して、個に応じた学習を進めます。

・記述式問題にも対応できるように、解き方や考え方の手順を説明する場面を設定します。

【家庭では】・授業で学習した内容は、その日のうちに家で復習しましょう。

(ワークに取り組む、自学ノートに同じ問題を解いたりまとめたりする等)

・一度理解した内容も、時間が経つと忘れてしまうことがあります。繰り返し練習し、定着していることを確認しましょう。

③ 英語

【学校では】・生徒が見通しを持てる授業の組み立て方、系統立てた指導を行います。

・単純な文法訳読にとどまらず、コミュニケーションの中で知識の定着を図ります。

【家庭では】・授業では継続的に単語テストを行っています。苦手な生徒は、毎回の単語テストの成績を改善することを心掛けましょう。

・シラバス(授業計画)を確認し、次の授業の単語テストの範囲・宿題の内容を確認するようにしましょう。

(2) 生活習慣・学習習慣の改善に向けて

【学校では】・授業内外で質問しやすい環境づくりを行います。

・自学ノートの内容の充実や学習プリントの準備、個に応じた課題の提示、eライブラリ等1人1台端末の活用など、家庭で学習に取り組みやすいように支援を継続していきます。

【家庭では】・節度を持った生活を意識し、自らを律することを意識していきましょう。

・とまこまい学びの3か条を改めて意識し、ゲームやスマホなどのメディア機器の使用時間をセーブし、毎日100分の家庭学習に取り組んでいきましょう。